

令和4年度公益社団法人朝日町シルバー人材センター事業計画

はじめに

国内での新型コロナウイルス感染患者が発生してから、3年目を向え、この間、就業時間短縮及び休業等が会員に波及しました。特に会員交流を伴う独自事業もその影響を受けました。

そして、ようやく感染拡大が収まりかけた前年末に、アンケート調査を実施したところ、新春の集いと日帰り旅行が、会員の一番希望する行事でした。また、その他多くの意見が確認できました。

今年度は特に、退会者をとどめるための新たな制度である、仕事をしない「いきいき会員」を選択した会員のためにも、何らかの形で楽しさ、やりがいを感じる事業を提供しながら、より充実したものにしたいと思います。

併せて、会員拡大に当たっては、退会者が少ないことや高齢者人口の割合から見て、拡大の余地が大きい女性会員の確保にも取り組みたいです。

町が実施する新型コロナウイルスワクチン接種に係る洗浄業務も請負いました。コロナ禍での、新しい生活様式に対応した、新たな就業機会の確保にも努めたいと思います。

高齢者の受け皿として、生きがいの充実、福祉の増進や社会参加の推進を図り、地域社会になくってはならないシルバー人材センターとして、活力ある地域づくりに寄与することを目的に各種事業を実施してまいります。

事業実施計画

1 目標値の設定（第2次中期5カ年年計画数値）

(1) 会員数（全シ連が定める増加率5.8%）	165人
(2) 契約金額（請負・派遣・有料）	58,300千円
(3) 就業率	95%

2 高齢者就業機会確保事業の推進

事業所及び公共機関等への情報収集を行い就業機会の確保に努めます。

この就業拡大と会員拡大は、車の両輪と同じでどちらが欠けても目標は達成できないので、しっかりと取り組みたいです。

(1) 高齢者活用・現役世代サポート事業の拡充

派遣業務（雇用契約、派遣先の指揮命令、その他）依頼が増えています。特に、会員が有する資格を活用するための情報収集に努め、就業拡大及び人員を確保したいと思えます。

- (2) 民間事業所等の長期就業につながる年間契約受注を確保できるよう努めます。
- (3) 公共の就業はやりがいのある仕事として、希望者も多く、今後も公共受注の拡大に努めます。
- (4) 家事援助のニーズに対応するため、さまざまな職種を開拓しながら全て対応できるよう努めます。

3 会員の拡大

- (1) 新規入会者の初年度会費が免除されることから、この情報を前面に打ち出して、いろんな機会にPRしながら入会促進を図ります。
- (2) センターの広報誌、町広報誌、新聞の折込みチラシ及びにホームページによる、独自事業等仕事以外の魅力ある活動のPRに努めます。
- (3) 会員及び役職員への「口コミ作戦」を重点的にお願いする。
- (4) 退会者を抑えるための“働かない会員”が入会できる「いきいき会員」制度の啓蒙周知に努めます。
- (5) チラシによる就業情報を提供して会員募集を図ります。
- (6) 高齢者会員には身体に負担のかからない軽度の就業を推奨するため、その就業拡大と確保に努めます。
- (7) 会員の社会活動促進として、町や各種団体のイベント及びボランティア活動への参加を呼びかけ、町民に対するシルバー人材センターのイメージチェンジを図ります。
- (8) シルバー人材センター普及啓発活動の一環として、会員の社会参加活動及び相互の連携を深めることを目的として地域美化奉仕活動を実施します。
- (9) 技術的要素を擁する後継者育成のため、講習会等の開催により人員確保に努めることと、仕事内容を再確認し、働きやすくすることを検討する。
- (10) 女性会員のさらなる拡大を図るため、独自事業及び清掃業務拡大確保に努めます。

4 安全・適正就業の推進

シルバー人材センターの事業において最も重要視されるのが安全就業です。事故発生件数を少なくするために、毎回いろんな形で講習会を開催してきました。さらに、安全対策に対する自己意識を向上するために、情報を提供できる機会

を増やして、徹底的に周知するよう努めます。

令和3年度の傷害事故はありませんでしたが賠償事故は2件発生しました。

作業現場の安全パトロールは、引き続き注意喚起に努めます。

次に、適正就業については、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の遵守を徹底するため、会員及び役員はもちろんのこと仕事の依頼者に対し引き続き啓蒙に努めます。

5 独自事業の推進

高齢者会員の受け皿としてもこの事業を継続するよう関係機関及び会員等に働きかけます。また、働くこと以外にも仲間づくりや社会参加に生きがいを求める場を提供していきたいと思います。

(1) 買い物支援移動販売事業

平成26年度に3地区2町内でスタートし、現在、4地区8町内、22カ所を対象に週1回の3日間移動販売をしております。予約注文も定着し、食料品以外の日用雑貨品も受けております。

天候や季節にあった商品など、お客さまのニーズに答えるよう努めております。

(2) 認知症カフェ事業<オレンジカフェほっとあいらす>

開設8年目を迎えます。コロナ感染症対策により参加者を15名以内とし、飲食を伴わない催し物など、内容を一新して実施します。

サポート役の会員は就業回数が減少するものの、今年度は、外部研修を行いさらに参加者への対応が向上するよう努めます。

(3) 「生きいき農園」の生産管理

会員が栽培した季節野菜を当センターにて安価で販売します。また、共同作業の楽しさを他の会員にも呼びかけます。

(4) ふれあいサロン<アイリス>の開放

地域住民のサークル活動等の拠点として、会員の触れ合いの場として無償開放をしております。認知症カフェ等独自事業もこの場所で開催しております。

引き続き検温、洗浄及びマスク等のコロナ感染症対策を十分に図りながら行います。

(5) その他の事業

① 古本の貸出し。

サロン<アイリス>前のフロアを利用し、古本の無料貸出しをしています。

② 女性会員の集い

女性会員を対象に交流と情報交換を兼ねて、楽しい憩いの場を開催しております。

③ 正月用の門松造り

事業者用、家庭用等いろいろな種類を作っています。ロコミ、予約はもちろん町の西の市でも安価で販売します。

④ 刃物研ぎ

使い慣れた包丁、ナタ、布鋏、剪定鋏等の研磨をしています。

⑤ 芋煮会

「生きいき農園」で収穫した里芋や野菜をふんだんに使った鍋汁です。

⑥ 健康麻雀大会

会員交流の場として「賭けない、吸わない、飲まない」をモットーに2月に大会を開催しています。

⑦ 会員主催等のサークル

会員及び互助会が主体となって開催するサークル等、教室、ボランティアへの参加を呼び掛けます。

(ア) 書道教室

(イ) 不用品交換会

(ウ) 太極拳教室

(エ) 地域包括支援ボランティアサークル

(オ) パークゴルフ

6 財政基盤の確立

自主財源の確保に努めるとともに、センター運営に最も必要な補助金については、町への要望を継続し、財政基盤の安定を図ります。

(1) 事務局体制の充実

現在の5人体制が継続できるよう安定した体制づくりを目指します。

職員が全ての事業運営に適應できるよう、いろいろな観点から物事を考え判断できるよう職員の資質向上を図ります。

(2) コロナ禍での事業開催となるので、内容の見直しを図りながら進めます。

(3) 理事会、部会、委員会組織の充実に努めます。